

合併年
30

よもやま話

— その2 —

小沢春光(栗山)



全国町村会からの表彰状と記念の置き物

全国優良町村として表彰

栗山にはNHK海外放送受信所も



早稲田大学考古学研究室の教授・学生によって、芝山古墳の中核である中台の殿塚・姫塚の調査結果が学界の反響を呼んでいたところ、ほど近い姥山の高台では、慶応大学の清水潤三・鈴木公雄両教授の指導による同校学生の貝塚遺跡発掘調査が始まっています。昭和31年から35年にかけて行われた調査では、集落の形態や出土品の学術的価値からも、極めて貴重な遺跡で、県下有数のものであることが確認され、既に大正年間に発掘調査が終了し学会に報告されている姥山貝塚に対して『山武姥山貝塚』の名称で報告されたのです。遺跡保存とは裏腹と言われる企業進出の調査が進められている時、同じ町内で考古学の遺跡発掘調査が行われることを考え、「横芝町も広くなったものだ」と、つくづく感じたものです。

「栗山にNHKの受信所ができる」——これは大変なニュースでした。どんな立派な建物ができるのだろうか。受信塔ほどのくらしいの高さだろうか。などの疑問のうちに、羽目板まで木造の平家と、添木と支線を張ってアンテナが架線されただけの木の柱が建ちました。わずかにお碗型の金属（これがパラボラアンテナで、筑波山頂の中継所に向いていることは後で知りました）を付けた十数メートルの鉄骨楼が、電波受信の施設らしく見えるだけでした。

「これは下準備用の建物だろう」ぐらいに考えていたその施設が、そのままの本施設で、木造は受信電の放流を防ぐため、地面に接するすべての部分は金属を使用しないのだと聞かされ、やっと納得したものでした。

この受信所は、正式には「NHK報道局外国放送受信部横芝分室」という名称で、海外からの報道はすべてここで受信し、筑波山頂の中継所にパラボラアンテナで電波送信し、それを有線電信または電流でNHK本局に送信するしくみになっていたのです。



2代目町長 伊藤績夫氏

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>41年</p> <ul style="list-style-type: none"> 8 両総用水、長倉地先で決壊有線放送公社電話と接続 9 学校給食センター業務開始 11 新空港三里塚に閣議決定、航空機事故多発、テレビド | <p>40年</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 郡環境衛生振興組合設立 3 東町児童館完成 5 屋形に日大学生寮完成 10 合併10周年記念式典 大島元町で大火、ミニスカート登場 | <p>39年</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 組合立東陽病院設立 3 町で土木機械共同設置 9 南川岸に第1号青年館 東京オリピック開く、東海道新幹線開業 | <p>38年</p> <ul style="list-style-type: none"> 6 心配ごと相談所開設 10 上町に町内初の老人クラブ 12 青少年相談員設置 ケネディ大統領暗殺、高度成長で、消費は美德・使い捨てなどが流行語に |
|---|--|--|---|

